

令和7年度 第1回 下阿多古小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月28日（月） 13時30分から15時45分まで
- 2 開催場所 下阿多古小学校 会議室
- 3 出席委員 出野 光雄、新井 恵美子、大栗 智恵、内山 達也、武田 あゆみ、高林 政三、梅林 正行、佐藤 聖徳
- 4 欠席委員 大石 見無雄
- 5 学 校 木下 栄二（校長）、藤岡 政哉（教頭）、沖 みどり（CSディレクター）
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり

8 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、内山委員から自薦する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された内山委員から、梅林委員を副会長に指名する旨の報告があった。

9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、武田委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について概要説明
- （2）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- （3）学校支援について

11 会議記録

司会の藤岡教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について概要説明

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき令和7年度学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 地域と学校が協働して運営を進めていく中で、放課後児童教室や学区内の他の学校の現状等、横並びの周囲の状況を把握した上で、今後の熟議が深化できればいいと思う。（梅林副会長）
- ・ SNS社会となってきた現在、今までの統一しなければいけないという考えから一石が投げられ、自由な考えを発することができるようになった。大変よい事ではあるが、その個々の考えや発信をまとめることができない状況にあると思う。見て、聞いて、感じたことを大切にして、多様化社会での善悪の判断を下すことができる社会や教育が必要ではないかと考える。（佐藤委員）

- ・ 児童の主体性を大切にする教育を行うことで、自分自身を大切にする心や、自分の考えを肯定できる大人を育成してほしい。(大柴委員)
- ・ 自己肯定感を高めることが非常に大切であり、小規模校の弱みを強みに変え、主体性を育む授業に取り組むことが重要であると感じた。自分の考えを持ち、認めてもらえることで、生きる力につながっていくのだと思う。(新井委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校支援について

議長の指示により、学校支援コーディネーターである武田委員から、別紙資料に基づき令和7年度における学校支援・学習支援について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ 前年度の米の販売を振り返り、保護者への事前予約を行ってもよかったのではないかと考えた。(出野委員)
- ・ 売れ残るという状況も経験である。そうならないための努力も勉強ではないかと考える。
(内山会長)
- ・ 本年度の米の販売価格には、作る過程や人材、かかる費用を入念に考慮し決定する勉強を推奨したい。(高林委員)

その他報告事項等

司会から、5月24日(土)に開催する幼小合同運動会についての案内があった。また、次回会議は、令和7年7月11日(金)午後1時30分から会議室で開催する旨の報告があった。